

一取扱いのポイント

※この取扱いシートは取扱う上でのポイントのみ説明しています。詳細は取扱説明書をご参照してください。

各部の名称・部品及び付属品

本機をご使用いただく前に、全ての付属品がそろっていることをご確認ください。()内は個数。

- 本体 (1)・操作パネル (1)
- ハンドル (1)
- 専用充電器 (1)
- キースイッチ (1)
- 充電器配線 (1)
- 取扱説明書 (1)
- 開梱手順書 (1)
- 保証書 (1)

- ヒューズ
ヒューズ 2A(1) [色: グレー]
ヒューズ 25A(2) [色: 白]

ボルト (大)	ワッシャー (大)	ナット
① ×4	② ×8	③ ×4
ボルト (小)	ワッシャー (小)	
④ ×3	⑤ ×3	

- バンド (2)

お客様の方で準備していただく必要な工具

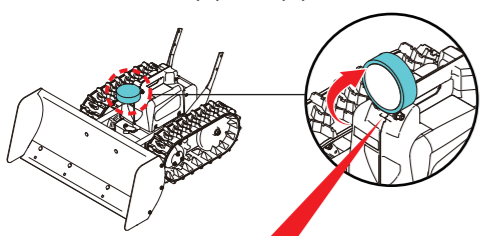
- 平スパナ 10mm (1)
- 平スパナ 12mm (1)
- 平スパナ 13mm (1)
- 平スパナ 17mm (2)

※組立ての際には、上記の工具が必要です。本製品には、工具は付属しておりません。

組立て

1 ライトを向けたい位置におこす

※平スパナ 12(1)、13(1) 使用

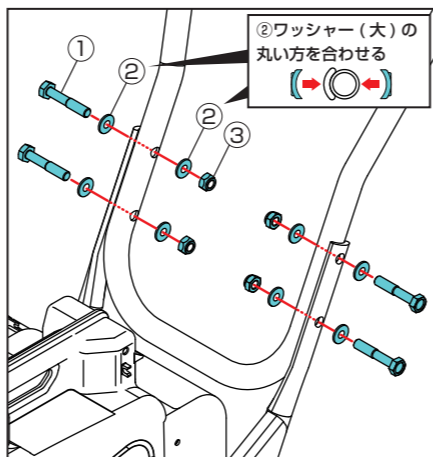
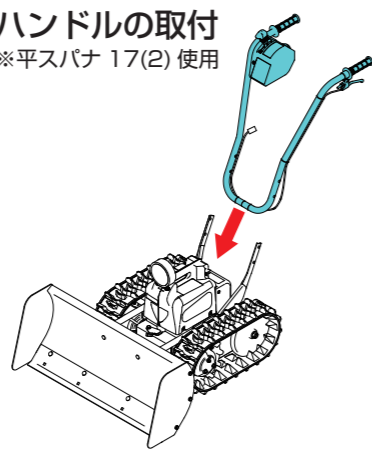


ライトをおこす

- 1) ナットをゆるめてから、ライトをおこす
- 2) ボルトをスパナで固定し、ナットを締め付ける

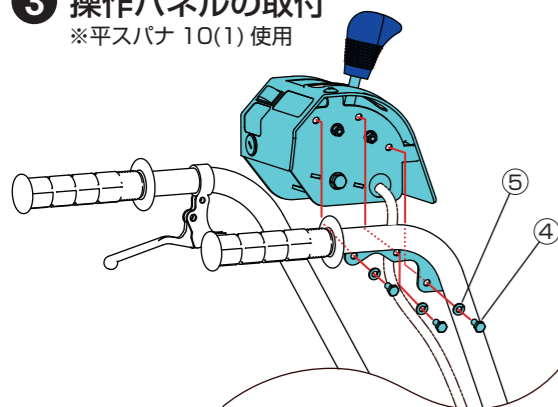
2 ハンドルの取付

※平スパナ 17(2) 使用

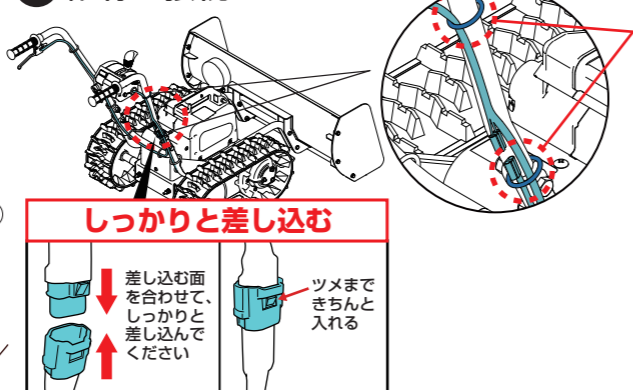


3 操作パネルの取付

※平スパナ 10(1) 使用



4 配線の接続



しっかりと差し込む

- 差し込む面を合わせて、しっかりと差し込んでください
- ツメまできちんと入れる

左側ハンドルと同じ位置で配線をバンドで固定する

【バンドの結束の仕方】

- バンドの先端を穴に入れ、ひっぱり上げる
- ひっぱり
- あまった部分はハサミで切る

⚠ バッテリー取扱いの注意

バッテリーケースの取扱い注意

- ・初めて使用する場合は、必ず充電してから使用してください。
- ・付属の専用充電器以外では充電しないでください。バッテリーの故障や発火の恐れがあります。
- ・火に近づけたり、水没させたり、落下させたり、端子をショートさせないでください。
- ・端子を濡らしたり、手で触ったりしないでください。感電の恐れがあります。

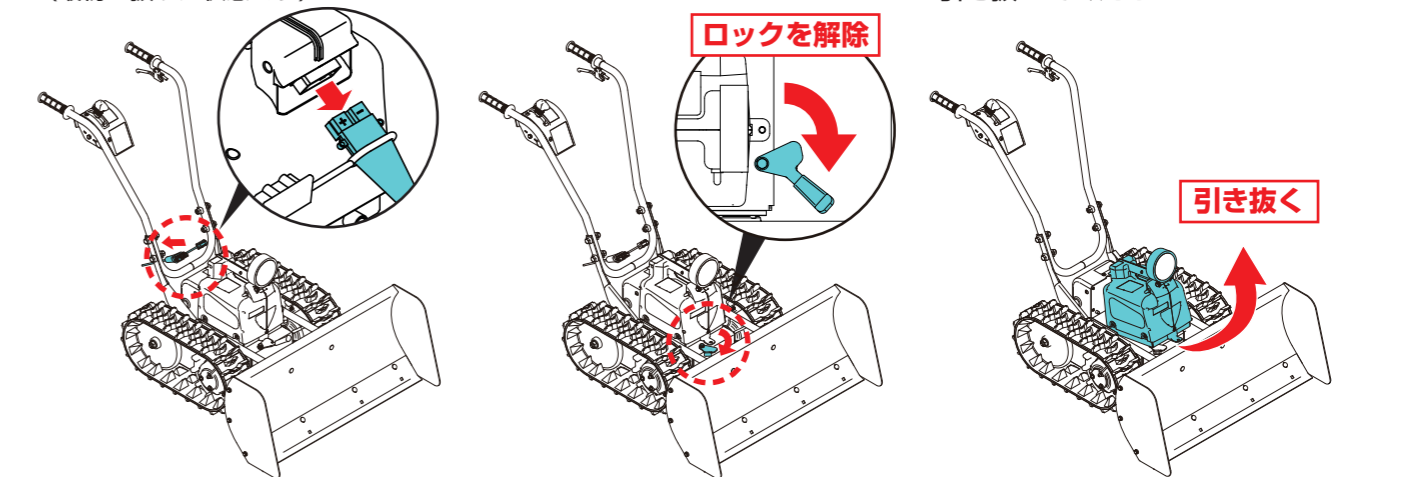
充電の取扱い注意

- ・電源コードを束ねたり丸めたままで使用しないでください。発火の恐れがあります。
- ・充電中はカバーをしたり上に物を置かないでください。内部が発熱し火災の恐れがあります。
- ・充電するときは平坦で、0~40℃の場所で行ってください。
- ・雨や雪等の水分がかかる場所では使用できません。

バッテリーの充電

1 バッテリーケースの取り外し方

- ① コネクターを抜いてください (最初は抜けた状態です)
- ② 固定レバーのロックを解除してください
- ③ バッテリーケースの前側を少し持ち上げ、引き抜いてください



※充電する時はバッテリーケースを充電器の側まで持って行ってください。

2 充電 ※お買い上げ時の最初は充電を行ってください。

- ① 電源プラグを 100V コンセントへ差し込みます
- ② 充電器へプラグを差し込みます
- ③ バッテリーに充電コネクターを接続してください

※①、②、③の順に接続してください
※充電完了ランプが緑色になったら充電完了です
※充電終了後も①、②、③の順に外してください

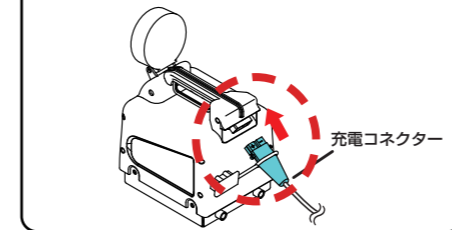
充電器の表示ランプ	充電器や充電の状態
● 赤 色	充電電源オン
● オレンジ色	充電中
● 緑 色	充電完了

※バッテリーは常に自然放電しますが、充電器が自動で感知し再充電します。この時オレンジ色に切り替わりますが異常ではありません。

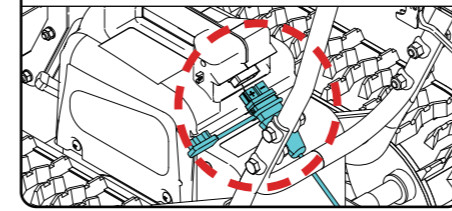
☀ 赤色点滅
充電されませんので、①、③を抜き、もう一度①、③を接続してください。

- ・充電中に充電コネクターが抜けた
- ・充電コードのショート
- ・バッテリーのヒューズが切れた

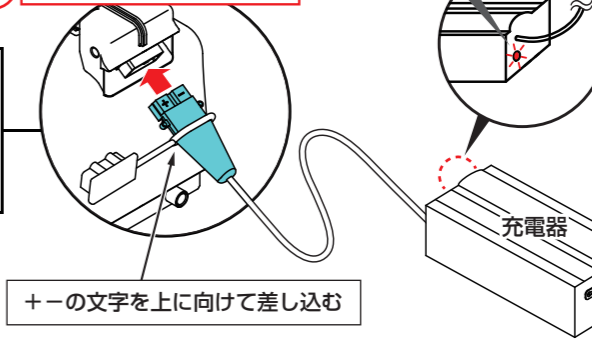
バッテリーケースを取り外して充電する場合



本体に取り付けたまま充電する場合



③ しっかりと差し込む



+-の文字を上に向けて差し込む

家庭用 100V コンセント

電源プラグ

充電器

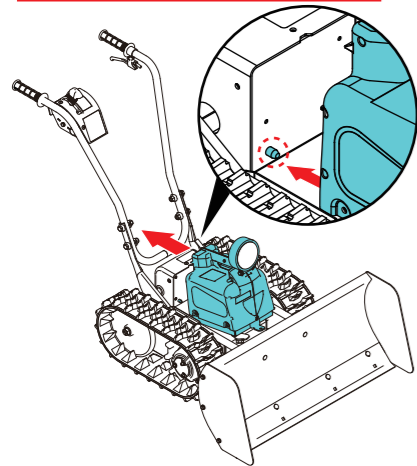
※雨や雪等の水分がかかる場所では充電しないでください。

バッテリーの充電 の続き

3 バッテリーケースの取り付け方

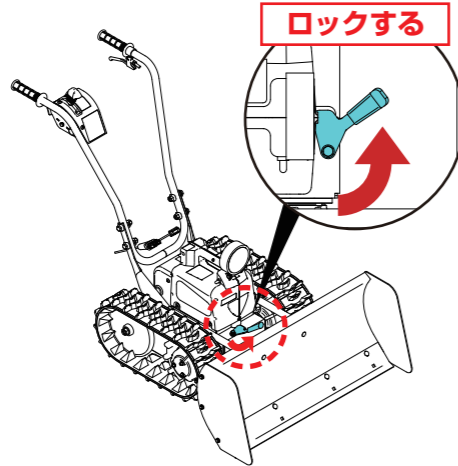
①バッテリーケースをスライドし、本体にセットする

※本体突起を目安にしてください



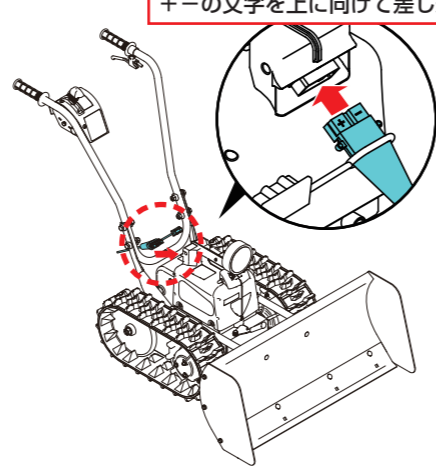
②本体の固定レバーをロックしてください

ロックする



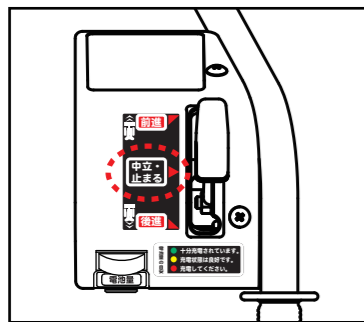
③電源コネクタをしっかりと差し込む

しっかりと差し込む
+-の文字を上に向けて差し込む

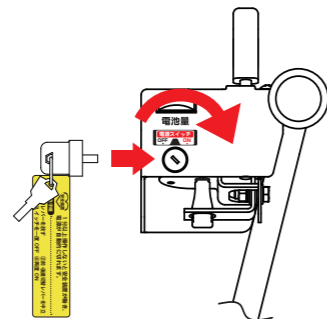


操作の仕方

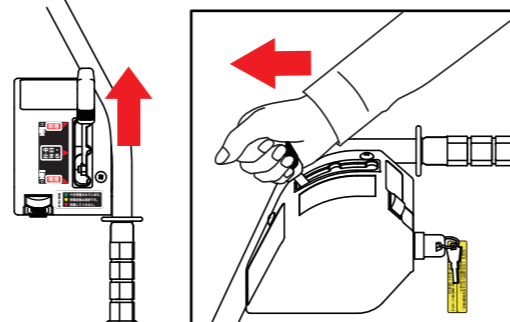
① 前・後進切替レバーを [中立] 位置にしてください



② キーを差し込み、電源スイッチを ON の位置に回す

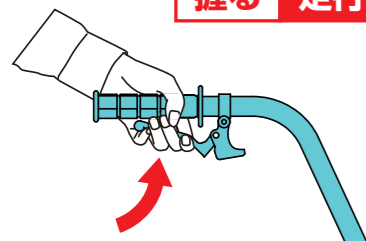


③ [前進] 位置にレバーを倒す
※後進時は [後進] 位置にレバーを倒す。



④ 左側の走行レバーを握ると走行

握る 走行

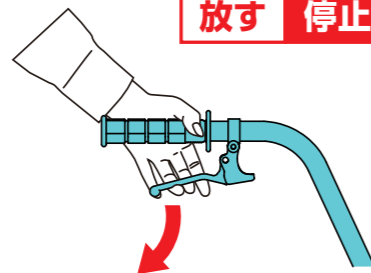


ハンドルを握るとゆっくりとスタートし、一定の速度になります。

※[前進・後進] 位置で電源を入れた場合は走行しません。電源スイッチを切り、操作を①からやり直してください。

⑤ 走行レバーを放すと停止

放す 停止



※電源スイッチを ON にしたまま 1 分間以上操作しないと安全装置が働き、電源が自動で切れ、走行レバーを握っても走行しません。(電池量ランプは点灯したままです) 電源スイッチを切り、操作を①からやり直してください。

緊急時

万が一の時には、走行レバーを放すと機械が停止します。また、電源スイッチを「OFF」に回すとバッテリーの電源が切れて機械が完全に停止します。

⑥ 作業が終わったら [中立] 位置にレバーを倒す

⑦ キーを回し、電源を OFF にしてから、バッテリーケースを外して充電を行ってください

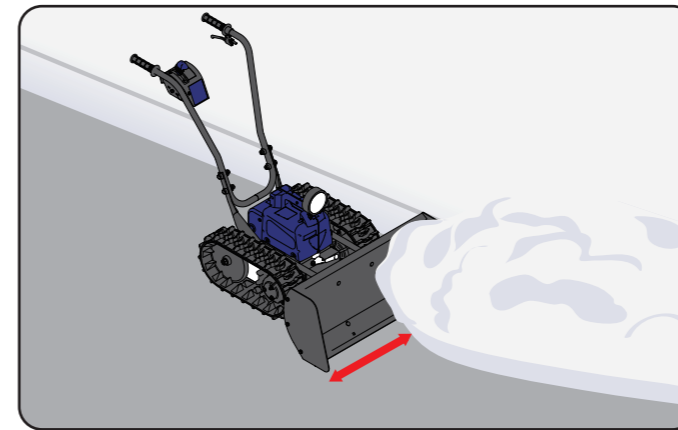
保管する時は本体の雪を落としてください。そのままにしておくと、付着した雪が凍り動かなくなる恐れがあります。

電池量ランプが緑色でも、すぐに赤色まで減ってくる場合は充電が不足しています。速やかに充電してください。

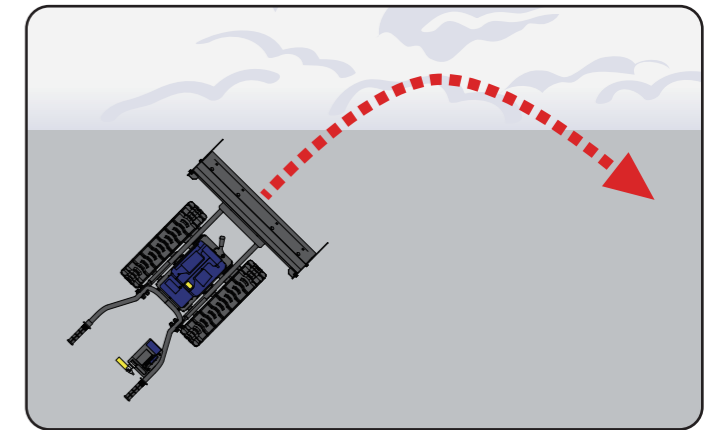
上手な作業の仕方

除雪作業はクローラをスリップ (空転) させない様にし、下記要領を参考にして除雪作業を行ってください。

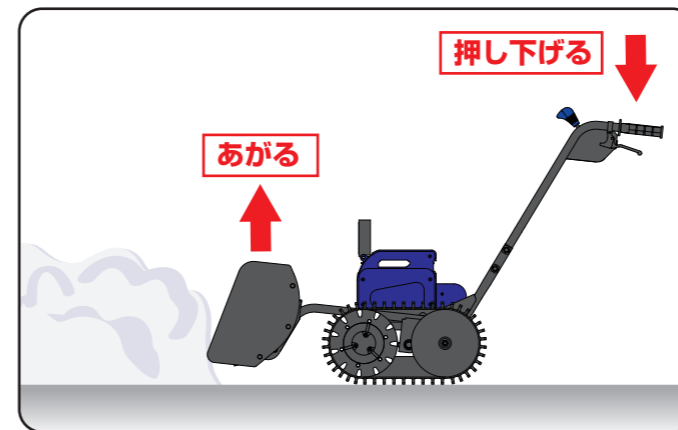
深い雪、固くなった雪の場合



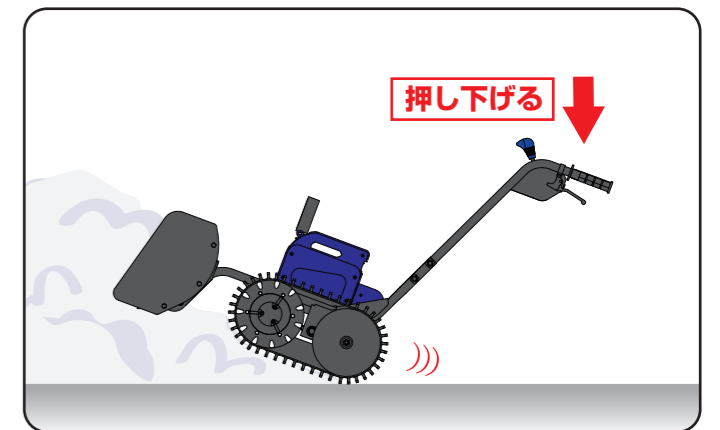
ブレードにかかる雪幅を狭くして除雪してください。



固まった雪、たまった雪などはブレードを使って少しずつ切り取ってください。



雪が重かったり、凍った雪にひっかかるとクローラがスリップしますので、ハンドルを少し押し下げて前進してください。



ハンドルを押し下げて、ブレードを上げると除雪した雪を、雪山状によせる事ができます。

保管とお手入れ

保管するときは

- 雪を落としてください。そのままにしておくと、付着した雪が凍り動かなくなる恐れがあります。
- バッテリーをできるだけ長持ちさせるため、使用後は速やかに充電してください。
- 使い終わった状態で放置すると、バッテリーの性能および寿命を低下させるとともに満充電する事ができなくなります。

長期間保管するときは

- バッテリーは使わなくても放電しますので、使用しない場合でも 1 ヶ月に 1 回は充電してください。
- 電源コネクタを外して、外したコネクタにゴムキャップを取付けてください。
- バッテリーケースは本体より取外し屋内に保管してください。その際、高温・多湿の所には保管しないでください。また、火気厳禁です。